

HDサクア 四つのケアでワークエンゲージメントの向上を図る 「We Care」プログラム導入

サクア・ホールディングス・ジャパンは4月から、サクアグループが世界で展開する人事戦略に基づく「We Care (ウィーケア)」プログラムを、傘下企業的全従業員を対象に導入した。同プログラムは、サクアが拠点を置く世界50の国と地域を対象に2023年10月に開始。グローバルに展開する人事戦略に基づく人事プログラムで、ライフステージの重要な局面で発生するさまざまなリスクから従業員とその家族を守ることを目的としている。会社からのサポートによって、従業員の家庭生活に安心感をもたらし、ワークエンゲージメントの向上を図ることを目指している。

「We Care」は、不妊治療を受ける従業員には、不妊治療を受ける従業員本人および、配偶者（略称：プレサポ休暇）の育児有給休暇を、現在の4週間から8週間へ延長し、さらに、配偶者を、現在の4週間から8週間へ延長した。また、DV・家族内暴力、性暴力④従業員と家族の健康①の四つの領域を柱に、従業員をケアしていく。妊娠・出産・育児に関する「Care」として、その配偶者・パートナーも取得可能な「プレグナ

としては、家族の急な看護や通院の付き添い、また介護のために特別有給休暇を取得することができる「ファミリーケア休暇」を新設。

また、DV・家族内暴力、性暴力への「Care」として、被害に遭った従業員への支援および、ケアのために外部機関による専門的支援サービスの提供と、対処に要する時間を確保できるように特別有給休暇を新設した。

さらに、健康への「Care」として、サクアグループで2020年開

「プレサポ休暇」など新設

始された健康増進プログラム「Healthy You (ヘルシーユ)」を拡充。すでに導入されている女性の月経周期や更年期障害の領域で先駆的なサービスを提供するヘルスケアサービス「Cradle (クレドル)」の活用を推進し、女性の健康だけでなく、男性更年期障害への支援の幅を広げ、従業員の健康リテラシー向上を推進する。

同社の川野多恵子常務執行役員兼チーフヒューマンリソースオフィサーは、「『We Care』の枠組みは、日本の少子高齢化や男女の共同参画といった社会的な課題の解決にもつながるも

の。サクアの事業は、顧客をリスクから守り、社会の発展に貢献しよう」と日々尽力する従業員に支えられている。本プログラムの導入によって、家庭や家族で発生し得るライフステージにおけるさまざまな不安や起こりうるリスクを緩和し、安心して仕事を進められるよう、その土台となる健康を支え、従業員一人一人の活躍とウェルビーイングをサポートすることができればと考えている」と話している。

「サクアグループは、従業員のウェルビーイングの支援を24年〜26年における人材戦略の重要なマイルストーンの一つと捉えている。今後も「すべ

ての人々のより良い未来のために。私たちはみなさんの大切なものを守ります。」というサクアのパーパスを体現するた

め、「お客さまの人生に寄り添うパートナー」として、健康をライフマネジメント実現のツールと捉え、従業員自身のヘルスリテラシーや健康意識の向上を図るとともに、従業員が主体的に健康増進に取り組むことができるよう、機会とサポートを提供していく。